様式１－３（統一栽培暦様式）　　（令和７年産）

もっと安心農産物　こかぶ栽培暦（冬どり栽培）

ＪＡいちかわ船橋地区もっと安心農産物生産グループ

１．土作り

完熟堆肥を施用する。（1,500ｋｇ）

２．施肥　土壌診断にもとずく施肥量の遵守（化成肥料由来の窒素成分量9kg／10a以内）

	肥料名	保証成分（%）	施肥量上限
基　肥	スーパーマイルド086	10－8－6（有機態窒素6.1）	２００ｋｇ／１０ａ
	有機アグレット673	6－7－3（有機態窒素6）	１００ｋｇ／１０ａ
	苦土重焼燐	0－35－0 苦土4.5	20kg／１０ａ
	苦土セルカ２号（有機石灰）	６０kg／１０ａ	

有機アグレット673は、スーパーマイルド086で窒素量が不足の場合施用する。

３．防除　農薬使用成分回数は合計３回までです。（エスマルクＤＦ・スピノエース顆粒水和剤は化学合成農薬に含まれない。）

（薬剤名後（ ）内数字は、化学合成農薬の成分数を示す。）

月	管理作業	病害虫の発生	薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	備考（耕種的防除の実施等）
１１月上旬	↑播種	アブラムシ	Ｄ－Ｄ　（1） ﾊﾞｽｱﾐﾄﾞ微粒剤（1） ディ・トラペックス油剤（2）のいずれかを使用する	20ﾘｯﾄﾙ/10a 30kg/10a 30ﾘｯﾄﾙ/10a	ネグサレセンチュウ 根こぶ病 萎黄病	品種：白涼・白鷹 ゆきわらし 防虫ネットでトンネル被覆する。その際破れ等ない物を使用する。 白さび病の防除にはランマンフロアブル２,０００倍（収穫３日前３回）を散布する。 ﾊｲﾏﾀﾞﾗﾉﾒｲｶﾞの防除は、発生初期にエスマルク DF（0）1,000倍（前日迄）を散布する。 収穫後、作物残渣はきれいに処理して病害虫の発生源をなくす。
中旬						
下旬						
１２月上旬						
中旬			フォース粒剤（1）	4kg/10a 播種時１回	キスジノミハムシ	
下旬			ユニフォーム粒剤（2）	9kg/10a 播種時全面土壌混和	白さび病	
１月上旬			モスピラン顆粒水溶剤（1）	2,000倍 （収穫21日前１回）	アブラムシ類	
中旬			ハチハチ乳剤　（1）	2,000倍 （収穫７日前１回）	キスジノミﾊﾑｼ コナガ	
下旬			ランネート 45DF（1）	1000倍 （収穫7日前2回以内）	アオムシ アブラムシ	
２月上旬			アファーム乳剤（1）	2,000倍 （収穫３日前２回）	コナガ	
中旬	収穫	ナモグリハエ	ﾌﾟﾚﾊﾞｿﾝﾌﾛｱﾌﾞﾙ５（1）	2,000倍 （収穫前日3回）	コナガ	
下旬			スピノエース顆粒水和剤（0）	5000倍 （収穫前日３回）	ハモグリバエ	
３月上旬			アルバリン顆粒水溶剤（1）	2,000倍 （収穫３日前２回）	アブラムシ類 ｷｽｼﾞﾉﾐﾊﾑｼ	
中旬						
下旬						

☆みんなで守ろう生産基準